

## 地域密着型金融の取組み状況（平成27年4月～平成28年3月）

（金融機関名 うみ街信用金庫）

1. 項目	創業・新事業開拓支援
2. タイトル	バイオマス事業への参入
3. 取組み内容	<p>当社は土木建設業を主体として稼働中。 土木建設業のみでの先行きに不安を感じ、従来よりコンクリガラの受入れ（産廃事業）及び骨材等販売（卸売業）と新規参入を図ってきたが、今般においても同様理由に加え収益性アップ及び資源再生利用の観点からバイオマス事業への参入を決めたもの。</p> <p>産業廃棄物受入れで木くずをチップとして細かく裁断することで、再生燃料として販売でき、廃棄物の量を削減し、収入を増加させることができる。</p> <p>平成28年4月より木くずの受入れを開始しており、稼働状況は良好。</p>
4. 成果（効果）	<p>北海道の平成27年度循環資源利用促進施設設備整備費補助事業に基づいて稼働しているが、事業開始から間もないため、具体的な成果はまだ上がってきていない。</p> <p>しかし、事業開始前から販売先3社と契約しており、今後の販売に不安は無い。</p> <p>解体処理後に出る木くずの受入れは近隣4町の業者から産業廃棄物として受入れ、受入れ料金も収入として見ることができるとなるため、効果は大きなものとなっている。</p>
5. 備考	

1. 項目	・地域の面的再生への参画
2. タイトル	・「ビジネスマッチング東北 2015」に北海道檜山地方の物産品を出品
3. 取組み内容	<p>仙台市「夢メッセ」で開催された“ビジネスマッチング東北 2015”に参加。当金庫の本店所在地である北海道檜山郡江差町を中心とした檜山 4 町が「檜山の物産観光の魅力の実行委員会」を立ち上げ、平成 28 年 3 月 26 日北海道新幹線新函館北斗駅の開業に合わせ、東北、北関東方面から檜山地方に旅行者を呼び込む為、仙台市で開催された物産展に参加致しました。</p> <p>地元特産品の販売・観光パンフレットの配布により、地域の情報の発信、観光誘致等を目的として実施しております。</p> <p>当金庫は後援と言う立場で開催場所の申請・費用負担による資金支援、物産展への職員派遣による人的支援で協力致しました。</p> <p>檜山地域の知名度は低かったものの、距離的に近く、また、北海道新幹線開業日も間近と言うこともあり、一昨年(26 年度)東京ドームで開催された「信金発 地域発見フェア」参加時と比較した場合、まずまずの効果が見受けられ、今後も継続的に支援していきます。</p>
4. 成果(効果)	<p>平成 28 年 3 月 26 日、北海道新幹線新函館北斗駅開業。</p> <p>開業から 3 ヶ月程度経過。鉄道での来道者は増え、函館近郊の観光地はにぎわいを見せている一方、利用者の中心は観光客に片寄っている。</p> <p>係る中、檜山地方においては、開業以来、江差町へも観光客が足を延ばし、若干の増加傾向を示しております。</p> <p>当金庫と檜山振興局は檜山地方の活力ある地域づくりの推進等を目的とした「包括連携協定」を締結しており、参加 4 町(江差町、上ノ国町、厚沢部町、奥尻町)を取りまとめし、檜山地方の観光資源発信、観光誘致等に取り組み、地域活性化のため今後も実施していく方針です。</p>
5. 備考	北海道檜山振興局との包括連携協定に基づく